



# 子供たちと教師の力を最大限に引き出すための デジタルを活用した教育の充実 (教育DX、オンライン教育、民間人材の活用等の推進)

令和6年4月22日

デジタル行財政改革会議（第5回）

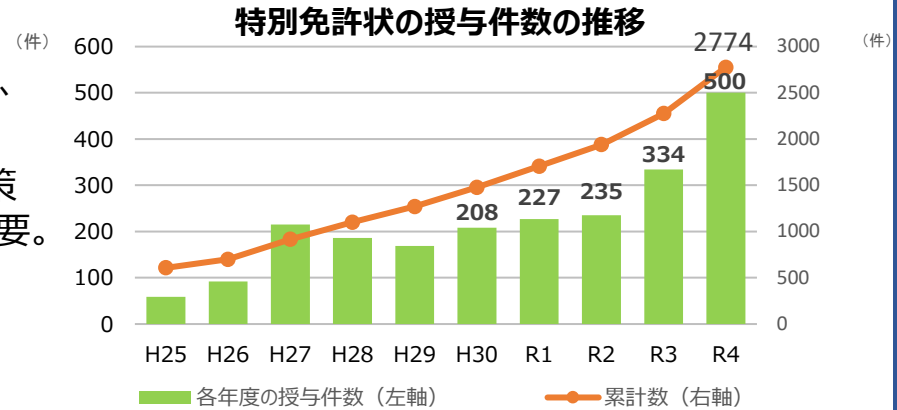
文部科学省

# 教師人材への民間人材活用

## 現状

- 学校での学習を実際の社会課題と結び付けながら、教科の壁を越えて探究的に学び進めていく、新しい時代に不可欠な教育を実現するためには、多様な専門性を有する質の高い教職員集団を構築していくことが必要。
- 専門的な知識経験や技能を有する民間人材の学校現場での活用方策として、特別免許状や特別非常勤制度の一層の活用促進を図ることが重要。

- ◆ 特別免許状の授与件数  
R4：500件（例：高校情報 約90件） 累計：2774件
- ◆ 特別非常勤講師制度の届出件数  
R4：約2万件（例：情報関係 約520件）



今後より一層、多様な専門性や背景を有する人材を教職に取り込んでいくためには、

- ・ 従来の範囲に止まらない、**新たな領域へ踏み出して教師のなり手の入職ルートを開拓すること**、
- ・ 民間人材の学校現場での活用方策の1つとして、各都道府県における**特別免許状の消極的な運用を是正すること**、等が必要

## 今後の取組

- 教育委員会が、大学や民間企業等と連携・協働する体制を構築し、新たな外部人材を含め、教師人材の発掘・確保を強化する取組を支援（R5補正事業）
- 各都道府県における積極的な活用に向けて、「特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」を改訂するとともに、特別免許状等を活用した好事例の周知等を行う

### 新たな外部人材の入職スキームを創出、多様な教職員集団の実現

